

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みんぐる		
○保護者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年2月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・施設環境の充実 事業所内が広く、児童がのびのびと過ごせる環境が整っている。活動スペースに余裕があるため、運動遊びや集団活動など多様な活動を安全に実施することができている。	・活動内容に応じてスペースを柔軟に活用し、児童が身体を動かせる環境づくりを行っている。 ・安全面に配慮しながら、自由に遊びや活動ができる環境づくりを心がけている。	・活動内容に応じたレイアウトの工夫を行い、児童の主体的な活動をより促進する。 ・個別活動と集団活動の両方が行いやすいよう環境づくりを継続していく。
2	・高齢者との交流活動 地域密着型通所介護と同一施設内で運営しているため、高齢者と体操やゲーム等の活動を通じた交流が日常的に行われている。	・体操やレクリエーションなど、高齢者と児童と一緒に楽しめる活動を実施している。 ・世代間交流を通して、思いやりや社会性を育む機会を大切にしている。	・季節行事やイベント等、世代間交流の機会をさらに増やしていく。 ・高齢者と児童がそれぞれ安心してかかわれる活動内容を検討していく。
3	・地域との交流 地域の方々や学童との交流を定期的に行っており、地域に開かれた事業所としての活動を行っている。	・地域行事や交流活動を通して、児童が地域社会との関わりを持つ機会を作っている。 ・地域の方々との顔の見える関係づくりを心がけている。	・学童や地域団体との連携を深め、交流活動の幅を広げている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の療育に関する研修体制 療育に関する専門的な研修機会体系的に確立されておらず、職員が継続的に学ぶ体制づくりが十分とは言えない。	・日々の業務の中で、研修時間を確保することが難しいことがある。	・オンライン研修等の活用も検討し、継続的に学ぶ環境づくりを進める。
2	・保護者同士の交流機会 保護者とはライン等を活用し連絡を取り合える体制は整っているが、保護者同士が直接集まり意見交換をする機会が十分に設けられていない。	・個別連絡が中心となり、保護者同士の交流の場が少ない。	・保護者会や交流会など、保護者同士が情報交換できる機会を検討する。
3			